

安全



河川の氾濫や洪水に警戒を

問合せ先 危機管理室 ☎072-433-7392



おしらせ ひろば

津田川・近木川・見出川の大雨による洪水リスクや、大阪府が指定している土砂災害警戒区域・特別警戒区域などを示した土砂災害・洪水ハザードマップを掲載しています。

避難場所・避難経路は事前に確認

安全な避難をするために、避難場所、避難経路は事前に確認しておきましょう。安全な場所にいるかたは、避難の必要はありません。新型コロナウイルス感染症を避けるため、災害の危険が少ない知人・親せき宅への避難も検討しましょう。家族が離れている時の連絡方法を決めておきましょう。

大雨や台風が近づいたら、気象情報や河川情報に注意

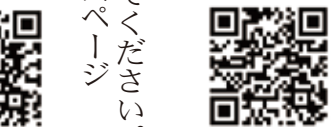
これから雨の多い季節を迎えます。集中豪雨など大雨による河川氾濫、洪水などの水害が発生しやすい時期です。市では、災害発生の際に高まった場合、避難情報などを発信し、ご自身や家族の身を守るための行動を呼びかけます。「百年に一度は明日かも知れない」という気持ちで、確実に避難行動が取れるよう備えましょう。

危険な場所の確認を!

確実な避難行動のためにも、まず自宅や普段生活する場所に、どのような災害の危険があるのかを確認しましょう。市のホームページでは、

報や災害発生時の避難勧告などの防災情報を携帯電話にメール配信します。登録は無料ですが、通信料は必要です。登録方法

メールを送信してください。大阪府のホームページ【河川や土砂災害の防災情報】



【気象庁ホームページ】



国土交通省防災情報提供センター携帯電話サイト



防犯対策メールに登録しましょう

子どもを犯罪などの危険から守るためには、いつでもどこでも、どんなことが起こっているのか知ることが大切です。登録者が同じ情報をいち早く共有し、子どもの安全を見守りましょう。

市内で発生した、子どもに危害がおよぶおそれのある状況や事件情報などを、携帯電話やパソコンにメールで配信しています。登録は無料(通信料は自己負担) 携帯電話での登録方法

携帯メールでの登録方法



防災情報の入手方法

防災情報メール 大雨・洪水警報、地震情報



パソコンでの登録方法

https://www.sai.smart-go.jp/user/manage/kaiizuka ※ドメイン指定受信、拒否設定されているかたは、あらかじめドメイン指定受信にcity.kaiizuka.ig.jpを追加してください。

安(あん)まちアプリ

警察では、府内で発生したひったくりや不審者情報と防犯対策情報などをタイムリーにお届けします。プッシュ通知する地区や情報種別を選択することができます。



Android

iphone



登録方法 下記QRコードから 問合せ先 危機管理課 ☎072-433-7392

全国瞬時警報システムによる全国一斉情報伝達訓練を行います

全国瞬時警報システム(Jアラート)は、地震や津波、武力攻撃などの時間的に余裕のない緊急情報を、人工衛星を用いて国が自治体に送信し、防災行政無線を自動起動させ放送することにより、みなさんに瞬時に情報を伝達するシステムです。

今回の訓練は、国民保護情報の伝達を目的とした訓練です。緊急情報を市民の

ほっ スピタル・か い づ か

(49) 流涙症をご存知ですか?

問合せ先 貝塚病院 ☎072-422-5865

流涙(りゅうるい)症とは涙があふれてハンカチを手放せなくなったり、まぶたがたれたり、見えにくくなる症状をいいます。原因は、涙の分泌量が通常より多くなる場合と、涙が目頭から鼻の中へ排水されていく細い通り道(涙道)の通過障害がある場合に分けられます。

前者の例では、ドライアイの人が冬に自転車に乗って冷たい風に当たると涙がでるのは、反射性に涙が過剰に分泌されるからです。また、逆まつげや異物で涙の分泌が過剰になることもあります。

後者の主な原因は涙道閉塞(狭窄)です。細菌に感染すると涙嚢(るいのう)炎になります。他にも結膜のたるみ(結膜弛緩症)が涙道の入り口をふさいだり、まぶたがたるんで涙を涙道にうまく導けなくなる場合もあります。鼻の炎症で涙道の出口がふさがり涙があふれることもあります。高齢者になると複数の原因が複雑に組み合わさって流涙症が起こることが多いのです。

他にも、ある種の抗がん剤でも流涙症が起こることがあります。薬によって眼の表面の角膜が傷ついて涙が出やすくなったり、涙道の入り口が癒着して涙があふれてしまうのです。しかし体の治療のためには必要な薬ですので、出来るだけ眼の表面に薬が残らないように防腐剤無添加の人工涙液を頻回に点眼して予防します。それでも涙が多くなってきたら、早めに涙道内視鏡を使って細いチューブを留置しておき癒着を予防する方法があります。

当院でも涙道内視鏡でこれまで見えなかった涙道の内腔を直接見て確認できるようになり、病態が把握しやすくなりました。お困りのかたはご相談ください。

眼科部長 三浦和美



5月は宅地防災月間です

宅地災害は、いったん起こると家屋や家財、ときには人命にもかかわることがあります。造成中の急斜面、無理な積み方をした石垣、風化の著しい崖面などは、長雨、大雨などにより思わぬ災害を引き起こすことがあります。

宅地災害を未然に防止するため、次のような点について自宅周辺を点検し、必要であれば早急に適切な処置をお願いします。

- ①石垣、よう壁などに亀裂などは入っていないか、割れ目から地下水がしみ出していないか。
②石垣、よう壁などの水抜き穴からうまく水が流れ出ているか。
③地盤は沈下していないか。
④排水のための溝に泥などがつまっていないか。

大阪府建築指導室が発行している「石積み・ブロック積みよう壁の自己診断マニュアル」には、点検方法など具体的に記載しています。マニュアルは大阪府建築指導室ホームページに掲載していますのでご利用ください。

問合せ先 府建築指導室審査指導課 ☎06-6210-9722 市まちづくり課 ☎072-433-7211

みなさんに伝達する体制を万全にするため、全国瞬時警報システムと市内に設置している防災行政無線を連動し放送することで、正常に作動しているかを確認するものです。
日時 5月19日(水)午前11時頃
放送内容 くチャイムく「これはJアラートのテストです」×3回
「こちらは防災貝塚市です」×チャイムく
問合せ先 危機管理室 ☎072-433-7392